福島第一原子力発電所現地確認報告書

１　確認日

令和８年９月３０日（水）

２　確認箇所

・Ｋ４タンクエリア（図１）
・免震重要棟集中監視室（図１）

３　確認項目

多核種除去設備等処理水測定・確認用タンクの連結弁改造の状況

４　確認結果の概要

多核種除去設備等処理水測定・確認用タンクの連結弁改造の状況

多核種除去設備等処理水（以下「ＡＬＰＳ処理水」という。）の海洋放出に当たり、県は、福島県原子力発電所安全確保技術検討会において取りまとめた安全確保や県民への分かりやすい情報発信等に関する８つの要求事項について東京電力に対応を求めている。これらのうち「異常時の環境影響拡大防止のための対策」として、東京電力は、Ｋ４タンクエリア内のＡＬＰＳ処理水測定・確認用タンク（以下「測定・確認用タンク」という。）の連結弁に駆動機構を使用した「自動閉」機能を追加し、大規模地震発生時等に、ＡＬＰＳ処理水の堰外への漏えい拡大を防止することとしている。

今回、東京電力が計画した３１か所の連結弁の自動閉機能の追加が完了し、開閉試験が実施されることから、その状況を確認した。（前回確認：令和８年８月２８日）

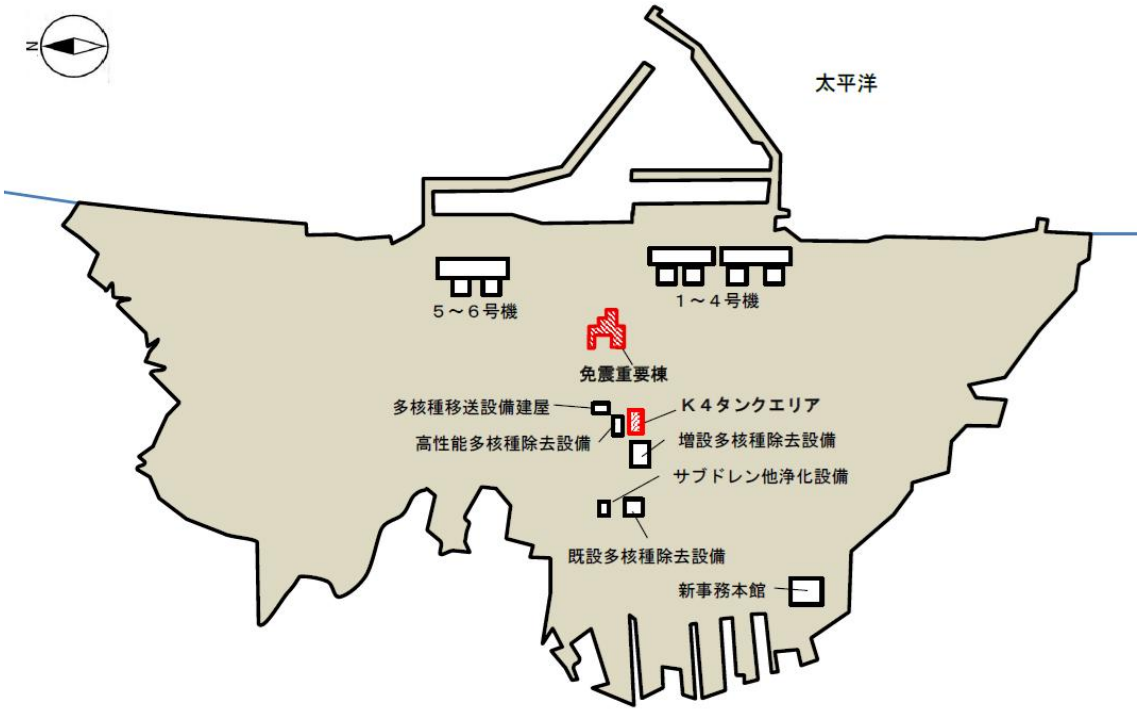
【現場状況の確認結果】

・測定・確認用タンク間の連結弁の片側に駆動機構が設置されていた。駆動機構の液晶画面には全閉（０％）の表示がされており、弁が閉になっていることを確認した。（写真１）
・遠隔操作により駆動機構を動作させたところ、開動作後に所定時間内で全開（１００％）となった。その後実施した閉動作においても所定時間内で全閉となり、弁が正常に稼働していることを確認した。（写真２）
・また、開閉動作時において、異音や異常振動等の発生は認められず、動作は良好であった。
・動作試験中において、タンク及び配管接続部からの漏えい等の異常は認められなかった。
・動作試験終了後、許可された者以外による弁操作を防止するため、南京錠による施錠が行われた。（写真３）

【遠隔操作状況の確認結果】

・操作手順書に従い、現場の作業員と連絡を取り合いながら遠隔操作による連結弁の開閉操作が行われた。（写真４）

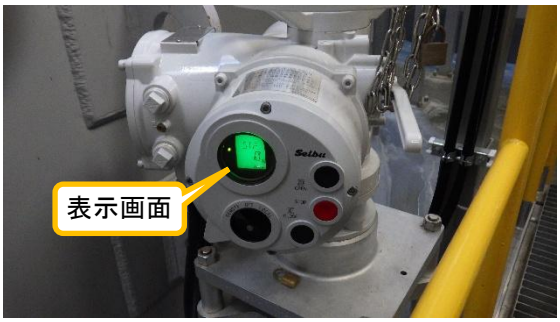
・操作モニタにおいて連結弁の開閉作業に影響を与えるような警報等の異常な信号は確認されなかった。



（図１）福島第一原子力発電所構内概略図



（写真１－１）
連結弁の改造状況



（写真１－２）
駆動機構の画面表示状況（駆動機構の画面表示で開度が０％を表示）



（写真２－１）
「開」動作後の状況（駆動機構の画面状況で開度が１００％を表示）
（「閉」動作後の状況）



（写真２－２）
「閉」動作後の状況（駆動機構の画面表示で開度が０％を表示）



（写真３）
連結弁の施錠状況



（写真４）
集中監視室での連結弁の確認状況

５　プラント関連パラメータ等確認

確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。